

# 未来に向かって伸びる鶴嶺の子 鶴小だより 11月号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校  
校長 大久保仁晶  
令和元年10月31日発行

## 後期スタート

短い秋休みが終わって、後期がスタートしました。始業式では、前期終わってすぐに、台風19号の影響で、鶴嶺小学校が避難所になった話をしました。また、後期、心を新たにして、頑張っていこうと思っている人がいるので、日本代表が見事に決勝トーナメント進出を決めたラグビーワールドカップを交えて話をしました。

ラグビーでは有名な言葉があります。「One for all, all for one」です。英語なので、難しいと思いますが、こういう意味です。「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」という意味です。前期の最後に、鶴嶺小学校のために、頑張っている人がいます、という話をしました。クラスのために、学校のために頑張れると自分もうれしいし、周りの人もうれしくなるのではないかと思います。まずは、自分のことを頑張って、そして、さらにその力を人のために使ってみてください。

また、今回のラグビーワールドカップでは、キャッチコピーがあります。「4年に一度じゃない、一生に一度だ」です。ワールドカップはオリンピックと同じで、4年に一度開かれます。4年前はイングランドで開かれ、4年後の2023年はフランスでワールドカップが開かれます。次、いつ日本で開かれるかはわかりません。いまこの瞬間は一生に一度という思いで、この言葉を作ったと言っています。皆さんが今のクラスでいるのも、残り半年です。まさに、一生に一度のクラスなのです。先の話ですが、後期の修了式は3月です。6年生はその前に卒業式になります。その日にクラスのみなどと別れるのがつらくなるくらい、後期に楽しい思い出を積み重ねてほしいと思います。もちろん先生たちも皆さんに協力します。

鶴嶺小学校の学校教育目標「かしこい子・やさしい子」を一人ひとりが目指すことで、鶴嶺小学校はもっとよい学校になっていくと思います。後期も学校への支援・協力をよろしくお願いします。

## 臼井恵之輔氏寄贈絵

タウンニュースの記事でご存知の方もいるかと思われますが、茅ヶ崎在住の画家、臼井恵之輔氏が市内32の小中学校に絵の作品を寄贈されました。臼井氏は、茅ヶ崎の美術教師として活躍され、中学の学校長もされた茅ヶ崎ゆかりの人物です。このたび、校長室に設置しました。タイトルは「トライアングル」です。絵のサイズは縦181cm、横227cmとかなり大きなサイズです。黒と白のコントラストが引き立つ、幻想的な作品です。ぜひ、来校の際には、校長室によってご覧いただければと思います。



タイトルの意味を考えるのもよいですね